

PTA神戸

第140号

編集発行
神戸市PTA協議会

〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1丁目3-2
神戸市総合教育センター内
TEL (078) 360-3453
FAX (078) 360-3454
URL <http://www.pta-kobe.jp>
E-mail info@pta-kobe.jp

発行人 齋藤 勝洋



本号の主な記事

- 1面 会長挨拶・日本PTA創立75周年記念式典・第49回日本PTA近畿ブロック研究大会・京都市大会
- 2面 第78回指定都市PTA情報交換会相模原市大会
- 3面 「想いを伝える」ミニレター&フォトイラスト入賞作品発表・神戸市立中学校PTA連合会主催研修
- 4面 キッズニア甲子園体験ツアー



会長挨拶



令和5年度神戸市PTA協議会の会長の齋藤勝洋です。常日ごろよりPTAの活動にご協力ご理解いただき誠にありがとうございます。

PTAもこのコロナ禍での約2年間、本来の活動ができない状態にありましたが、徐々に通常に戻っています。神戸市PTA協議会としても十分注意しながらPTA本来の活動を推進、提案していきたいと思っております。

PTAや子供たちを取り巻く社会の環境も変わってきていますので、これまでに戻るのはなく、本来の目的を確認しながら、効率化を図り、軽減できる部分は軽減し、形を変えながら皆様がより活動しやすくなる場を目指していきたいと思っております。

現在のPTAのあり方など、課題は多いのですが、今年度の基本方針に則り、子供たちの学校生活をサポートする保護者のための活動を提案していきます。一番大事なことは、我々保護者や先生方をはじめ、関係者が楽しみながら、仲良くしながら活動することだと思っています。そのような姿を子供たちに見せること、また、将来やってみたいと思われるような活動になることで、次の世代につなげていきたいと思っております。そのために神戸のPTAのガイドラインになればいい指針を作成中です。どうか会員の皆様にはご理解いただき、6年度もご参加いただけたらと思います。

今年度から月一回PTAで困ったことや学校での困ったことを取り上げる「専門委員会」を開催していきます。毎回活発な意見交換や情報共有を行っています。まだまだ少人数ですが、「面白いよ」という口コミで広がれば良いと考えます。ここで話し合った内容含め会員の皆様が行政機関や関係団体とコミュニケーションをとれる組織として保護者の意見を集め、届けていきます。ぜひご参加ください。(HPから参加登録をお願いします。)

日本PTA創立75周年記念式典



日本PTA創立75周年記念式典が令和5年11月24日ホテルニューオータニで挙行されました。

5年に一度、例年の優良PTA文部科学大臣表彰「122団体」、日P会長表彰「218人・105団体」に加えPTA活動振興功労者表彰「135人」、日P会長表彰「特別431人」もあり、大きな式典となりました。齋藤市P協会長所属の神戸市立住吉中学校が優良PTA文部科学大臣表彰(兵庫県枠)、元市P協会長(H25.27)の加地幸夫さんがPTA活動振興功労者表彰を受けられました。受賞された皆様、おめでとうございます。

記念講演は、中央教育審議会会長の荒瀬克己さんによる「講話」でした。



式典に併せて第45回全国小中学校PTA広報紙コンクールの入賞校の表彰もありました。

神戸市から応募しました次の9校については、「奨励賞」をいただき、後日協議会に賞状が届きました。後日各PTAへ送らせていただきます。お楽しみにお待ちください！(第45回優秀広報誌作品集)は日本PTAのHPから「注文」いただけます。

奨励賞

- 御影小学校PTA 魚崎中学校PTA 魚崎小学校PTA
- 玉津第一小学校PTA 本山第一小学校PTA 本山第三小学校PTA
- 会下山小学校PTA 本山南中学校PTA
- 垂水東中学校PTA

※3月初旬から令和5年度広報紙コンクール作品募集を開始する予定です。詳細、ご案内はHPでもお知らせいたしますので、PTA活動を伝える「広報紙」をお待ちしております。

第49回 日本PTA近畿ブロック研究大会「京都市大会」開催!

はぐくもう「つながり」「きずな」「おもいやり」
～京からはじまる 持続可能でレジリエンスあるPTA～
全体会 令和5年12月1日 ロームシアター京都
分科会 オンラインで配信 (現在は終了しています)



暖かな12月の京都へ、神戸市からも会員の皆様に参加しました。

午前の部では分科会ダイジェストが映像で流れ、神戸市が担当した第4分科会「青少年健全育成」では浜山小学校PTA会長、廣井さんの発表の様子が映りました。

特別分科会(京都市)では元京都市副市長の藤田寛之さんに、「合言葉は『レジリエンス』」子ども親も育つ 家庭・地域・社会」というテーマで、講演いただきました。

記念講演は、元阪神タイガースの松山進次郎氏による、「壁にぶつかったときのセルフモチベーション」で、子供の時からこれまでの頑張り、努力をお話しされました。

6年度は滋賀県で11月9日に開催です。大人の「学び」を皆で体験しましょう!



第78回指定都市PTA情報交換会 相模原市大会

令和5年9月14日/15日 ~理事他9名の参加者からの感想~ 会場(杜のホールはしもと)

全体会

記念講演 講師 星山麻木氏
 「すべての子供たちを守りたい」
 「生きてきてくれてありがとう。子どもたちに伝えたいあなたのために」



講師の星山教授は特別支援教育の専門家であり、先生方に指導する立場でもあり、現場での経験を生かしたお話を聞くことができました。

「全ての子供たちに合った学び方は無い」のだから、その子に合った学び方、接し方があっても良いこと。また、子供たちの良いところを探して褒める実践教育を行ったところ子供たちが飛躍的に成長したことなどを聞くことが出来ました。

星山教授が執筆された「虹色な子どもたち」の中身を紹介しながら、人それぞれが持っている特徴や接し方などを聞くことが出来ました。講演会終了後、すぐに購入して読んでみました。自分の子供にも当てはまる色が必ずあると話されていて、読んでみると実際に思い当たる場所があり共



感じました。今回の講演の話は、幼稚園や入園前の子育てで困っている親にも是非聞いていただきたい内容であり、紹介されていた本も一読すべきだと思いました。

今回の政令指定都市大会は小中学校が中心でしたが、幼稚園児の保護者でも大変勉強になる内容であり、どのように伝えていくかが課題です。

残念ながら星山教授が執筆された本は神戸市立図書館に蔵書されていないようなので、購入するしかないようですが、是非とも神戸市教育委員会から各学校園に配布いただいてもよいものだと思います。

最後に、政令指定都市大会にオプザーバ参加されていた静岡市の方々からお土産にいただいたプラモデルを子供が組み立てました。



アオシマ文化教材社製の楽プラシリーズはある程度簡単に組み立てることができ、色を塗らなくても色ごとに分けられた部品を組み合わせたリシールを貼ることで、とてもリアルな自動車模型を組み立てる事が出来ました。近年のプラモデルは精密模型に集中しがちで、高価格化が進み、子供が気軽に組み立てて遊ぶ事が出来なくなっています。アオシマが発売している楽プラシリーズは2000円程度の価格ですが、気軽にプラモデルに触れることが出来る貴重なシリーズだと思います。

プラモデルの世界首都を名乗る静岡市のシビックプライドとして世界に誇れるプラモデルを発信していただきたいと思います。(副会長 春木康輔)

第2分科会

【地域連携】

「コミュニティスクール 自分の子、自分達の子」

コミュニティスクールは学校の方針を承認する側面が強いと思っていたが、今回の講演や議論を通して感じたのは、コミュニティスクールを本当の意味で活用できると学校や家庭、そして地域の課題に対して、全員が協力して手が打てるようになる。家庭だけでなく、学校だけでなく、地域の中で子供たちを育てていくことができる。かと思



いました。それぞれの地域で関係性や課題の共有という部分で、まだまだ作り上げていかないといけない部分はありますが、広島市のモデルケースのような姿を知れたことは、コミュニティスクールの意味や有効性を知れたばかりでなく、自分達の目指す形をイメージすることが出来ました。(理事 竹谷直浩)

第3分科会

【成人教育活動】

「その子らしく生きる力を育てる」

一般社団法人子ども家族早期発達支援学会 松原 豊氏
 「子どもの理解」
 成人教育プログラム「子供の理解」を通じて、多様性について学びました。多様性はいわゆる社会的マイノリティ(LGBTQ)や障がい者への理解だけでなく、自己も同じように、他者から受け入れられる存在であることを理解しなければならぬということでした。

また、多様性を尊重すること、肯定や同調することは異なるということを理解しました。つまり自らが進んでマイノリティになる必要はなく、認識し、尊重し、受け入れることが大事であるということでした。

子供たちが得意な分野を伸ばし、新たな挑戦に取り組める環境を提供することが大切です。大人の組織においても多様性の重要性が示唆され、子供たちが自分らしく生きられる学校を築くために、今の大人たちが現在の共生社会を理解して、子どもたち以上に意識改革を進めるべきであると考えました。(監事 石下敏久)

第3分科会では、子供の発達に

ついてグループに分かれて話をしました。松原 豊先生のお話は子育てをする親として、とても共感するものがあり、多様性と好奇心という言葉が一番心に残りました。日本の子供たちは他国に比べ、自己肯定感や意欲が低いと言われるています。

他者と比べないことや、他者との違いを理解することで、多様性を尊重することが出来ます。大人が子どもの興味や選択を受け入れ、それを伸ばすためのサポートを意識することが大切です。

これまでの学校は新しい知識を学ぶのが学校の役割でしたが、現在はスマホ、PCで検索すれば様々な知識だけでなく、技術も学ぶことが出来ます。これからの時代、子供たちは知識のみを学ぶだけでなく、知識をもとに試行錯誤しながら自ら考える力を養うことが大切です。

子供に自分の人生を自分の力で歩んでいってもらうためにも、一人ひとりの個性を生かした教育に取り組む必要があります。まさに私たちが目指す子育ては、どんなに予測不可能な時代になっても「食いつぶぐれない子」を育てなければならぬのです。



これからの時代を生き抜くために必要な力はひとつではありませぬ。勉強さえ出来ればOKの時代はまもなく終わります。「何をもちて優秀とするのか」「できる子」の定義が変わります。幼児期から子供の好奇心に親がとことん付き合ひ、脳の発達を伸ばす事ができる環境やチャンスを与えて興味を持った事をチャレンジさせてあげる事で、子供の脳の発達を伸ばすことが出来ます。

「やりたい気持ち」とことん追及して自分が興味を持った事の本質・深さを知り、自分自身を理解する事でそのプロセスを活かせる大人になっていくことが大切です。「勉強ができる子」ではなく、「心豊かで賢い子」を育て、自己実現や夢を叶えることが出来る大人になつてほしいと思います。(理事 山田順子)

第4分科会

【広報・情報活動】

「PTAとICT」

神戸からは名越、富士の2名が参加した。事前アンケートの回答を各協議会から発表し、それについて少し補足や意見交換があった後、グループワークを行って問題の共有や考えを深めた。

分科会まとめ

事前アンケートの内容は限定的なものだったが、分科会で各協議会による工夫や悩みを知ることが出来て良かった。特に運用方法やコストは比べる機会がなく、為になった。ICTに限らず、PTA活動において興味や知識があるいわゆる「出来る人」が重宝されがちだが、ICT利用者はさまざまなので、あえて苦手な人に関わってもらい、わかりやすいやり方を一緒に

に探してもらおう、というのもICTを広める一つの工夫のように思った。

全体を通して指定都市大会は初の参加であったが、ICTにまつわる問題は単位PTAから協議会という大きな組織まで共通点があり、『わかりやすく伝える』『告知したこと』を別のツールでも伝える』などの工夫が必要だと感じた。また、理事などが交代しても困ることの無いよう、徹底したマニュアル作りも必要かと思われる。他都市の取り組みに触れて学べたい大会であったと思う。

(理事 富士莊貴)

☆各協議会でのICTの活用について他

この度、初めての指定都市情報交換会でありましたがとても勉強になりました。この様な機会を与えていただきまして誠に有難うございました。

それぞれの指定都市の取り組みや動きが学べた事は非常に大きな価値であります。同じような都市でもそれぞれ特色があり、みんな同じではありません。その違いを学び、研究させていただき神戸でも活用できることは活用させていただきます。ICTについては、今後も情報交換をしながらその都市にあった形を作っていければと思います。

この様な素晴らしい大会を計画・実施していただきました相模原市PTA連絡協議会の皆様をはじめ、相模原市教育委員会の皆様には感謝させていただきます。今後も連携を取らせていただきながら子どもたちの明るい未来の為に努めさせていただきます。ただこればかりではダメです。

(理事 名越正一)

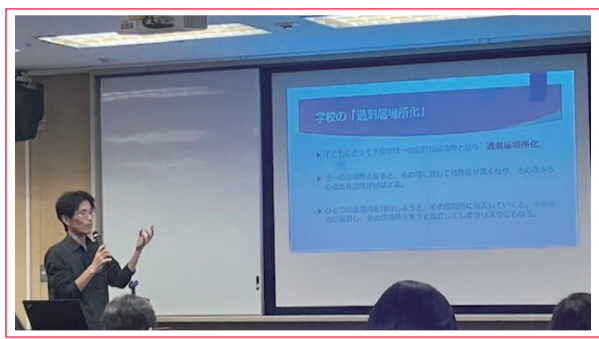
■総括

「指定都市PTA情報交換会」は、第78回を迎えており、古く昭和22年から、形を変えながらも現在、16指定都市同士で活動や情報の交換、交流を行っております。

日Pに所属する指定都市の集まりですが、ある時期までは日Pとは一線を画し開催していたと聞きます。指定都市は規模的に同じということもあり、同じような課題での深い話し合いができるので年一回とはいいながら共感し合うことが多い、貴重な会だと感じます。

特にコロナ禍、コロナ後においてのPTAの運営の難しきPTAはなれにについては、いくら話し合っても尽きない課題です。他都市の様子をうかがいながら翻って自分の都市を改めて見直すことができ、何かしらヒントを得る事ができたと思います。次年度は熊本市で開催です。

(会長 齋藤勝洋)



神戸市立中学校PTA連合会主催
「不登校と将来」
保護者ごとの声

令和5年12月15日(金)・令和6年1月19日(金)の2回にわたって、夜間ではありましたが、各40名以上が集まりました。

全国の小中学生の約29万人を占めると言われる「不登校」をテーマに、当事者として、またPTAとしてできる事を情報交換する研修会を開催しました。

講師にNPO法人フォロの山下耕平さんをお招きし、数字や統計から学び、実例も上げながら、ディスカッションや質疑応答を行う、有意義な会となりました。

神戸市立中学校PTA連合会は、今後も主事業として、このように会員の皆様の声からテーマを取り上げて行きます。神戸市PTA協議会との連携も考えています。

令和6年度はぜひ中学校PTA連合会にご参加ください。(中P連会長 宮澤清志)

令和5年度「家庭教育の大切さを啓発する事業」 「想いを伝える。」ミニレター&フォト・イラスト 入賞作品発表!

◆あなたの大切な人へ・・・ミニレターや短歌で、イラストや写真で、「想い」を伝える。そこに込められた何万もの愛情や感謝の言葉を託した素敵な作品を、毎年たくさんの会員の皆様からご応募いただいています。学校の授業として取り組んでいただいているところ、家族みんなで、恥ずかしいのでこっそり・・・様々な背景はあっても「大切な人への想い」が伝わってくる秀逸の作品ばかりです。ミニレター45点、フォト・イラスト20点の中から入賞作品を選び、10月の神戸新聞と協議会HPで発表いたしました。毎年6月から募集しています。6年度もぜひご参加ください。入賞作品には賞状と、副賞として図書カードを贈ります。

ほのぼの賞

灘の浜小学校
二人は宝物さん

神戸市PTA協議会賞

丸山ひばり小学校
坂井 都櫻さん

神戸市PTA協議会賞

かんちゃんへ
まわりの人の心の扉
どんどん開けていくんだね
ほら
私も笑っちゃった

本山第二小学校
まあちゃんさん

ほのぼの賞

坂の下くんへ
せいやくん 天パがいつも
似合ってるね。
ポジティブなところ
元気もらえる

神港橘高等学校(2年)
東出 祐希さん

ジーンときたで賞

長坂小学校
サニーさん

笑顔になれたで賞

五位の池小学校
つじ ゆみさん

笑顔になれたで賞

があちゃんへ
元気やな いつもおどって
声がかい
やけどいつもな
げんきもらっとる!!!

神港橘高等学校(2年)
堀江 ささらさん

ジーンときたで賞

おばあちゃん(曾祖母)へ
僕の名も 記憶が薄れ
片隅に
心に残る 思い出を作る

須佐野中学校(2年)
銀ちゃんさん

キッズニア甲子園体験ツアーに行ってきました!

12月25日(月)「キッズニア甲子園体験ツアー」へ、神戸市PTA協議会の会員のお子様45名が参加しました。今回が3回目で、ラストとなりました。毎年12月最後の月曜に開催しており、今回はクリスマスに当たったので、参加されたお子様へ、キッズニアからプレゼントもいただきました。

神戸の2カ所からバスで、早朝に出発しました。キッズニア甲子園は本格的な職業体験ができる、子供たちだけでも安心して楽しめる施設です。1人で参加した子供たちも友達同士で参加した子供も、生き生きと、自ら進んで自分の好きな体験プランを組み立て、参加していく姿には毎回驚きます。

時間いっぱいまで楽しんで、帰りのバスでは体験の話しに盛り上がる子、力を出し切って寝てしまう子も。

次年度も、協議会として、PTAの皆様の協力で、子供たちに夢を持ってもらえるような事業を企画できればと考えます。



神戸市PTA総合補償制度

- ・神戸市PTA安全教育振興会による「見舞金給付制度」(給付額上限10万円)
 - ・損保会社による団体傷害保険・PTA賠償責任保険
- この二本立てで会員の皆様のPTA活動中における災害について補償をしております。

神戸市PTA安全教育振興会

お問い合わせ: 078-360-3455 (月・金) AM10:00~PM3:30

「KOBE★ファミリーコンサート」開催決定!!

告知

令和6年4月7日(日)神戸文化ホール 大ホールにて午後開催
宮川彬良氏と大阪SHIONによる楽しい吹奏楽コンサート
★協議会会員の方とご家族の方々は特別優待価格でご案内いたします★
詳細は2月下旬頃から、チラシ、協議会HP他でお知らせいたします。

えう
ご期待

神戸市PTA協議会 会員の皆様へ

【令和5年度】

園児・児童・生徒24時間総合保障制度追加募集のお知らせ

(団体総合生活保険)

**中途加入
随時受付中!**

毎月末日までに加入→翌月1日午後4時から補償
保険料口座振替日:補償開始日の翌々月27日
補償終期:令和6年5月1日午後4時

小・中学生総合補償制度は兵庫県自転車条例に対応しています!

特長1

**お子様やご家族が
被害者になったとき**

今年から補償を追加しました!



いじめやストーカー被害などで弁護士に委任や相談をした場合の弁護士費用、法律相談費用を補償!
(SS・S・A・D・E・Fタイプ)

いじめ・嫌がらせ・痴漢等相談ダイヤルも無料でご利用いただけます

特長3

幅広い補償

病気で入院した場合の医療補償
(SS・S・A・D・E・Fタイプ)



インフルエンザや新型コロナウイルス感染症も対象

お子様の扶養者に万が一のことがあった場合の育英費用補償



特長2

**お子様やご家族が
加害者になったとき**

示談代行付き(国内のみ) (SS・S・A・B・Cタイプ)
個人賠償責任補償で安心!



お子様ご本人だけでなく、家族やペットが起こした賠償事故も補償

特長4

お子様がケガ

学校内・放課後・通学途中
部活動中・プライベートを問わず
24時間補償で安心!



細菌性食中毒
熱中症
特定感染症も補償!
(SS・S・A・B・D・E・F・Gタイプ)



特長5

団体割引等の適用

加入者3000人以上だから約16%割安
多くの方にご加入いただけている規模のメリットと過去の保険金支払い実績にもとづく割引を適用しています

「もしも」が起こった時に大切なお子さまを24時間いつでもどこでもお守りする「備え」のご案内です



春に学校よりパンフレットを配布しております

ご加入はこちらのQRコードから!



【幹事代理店】
株式会社アーク・スリー・インターナショナル
TEL 06-7633-0001 (営業時間/平日 10:00~17:00)
【引当幹事代理店】
東京海上日動火災保険株式会社 兵庫支店 神戸公務金庫
TEL 078-333-7241 (営業時間/平日 9:00~17:00)

このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

令和5年11月作成 23TC-005179

小中学生のお子さまがいる保護者の皆さまへ

お子さまを守るために知っておきたい

こどものリスク白書

個人賠償

お子さまが他人に危害を加えたり物を壊して賠償問題になることがあります。

9,500万円

小学5年生の児童が62歳の女性と自転車事故を起こし、母親に対して約9,500万円の賠償を命じられた事例があります。

50万円

学生が自転車で走行している際、駐車場止めてあった車をぶっつけて50万円を超える賠償が発生した事例があります。

※1 出典:日本損害保険協会「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)

事故・ケガ・入院

お子さまが登下校時等に事故にあつてケガをすることがあります。

25万円

学生が公園で遊んでいるときに転倒して右足を骨折し、入院・手術・通院で25万円以上の費用がかかった事例があります。

小学生の交通事故死傷者(死者数) 約33%

中学生の交通事故死傷者(死者数) 約58%

※1 出典:日本損害保険協会「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)

いじめ

暴力や悪口等のいじめにより身体的・精神的な苦痛を受けることがあります。

約40件

小中高のいじめは、平均で生徒1,000人あたり約40件、小学校では児童1,000人あたり約70件起きています。

学校でいじめ被害に会い、弁護士を借りるために10万円以上の費用がかかった事例があります。

※1 出典:日本損害保険協会「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)

ネットトラブル

同級生やネット上で知り合った友達にSNS等で悪口を言われることがあります。

年間1,800件以上

小中高あわせてSNSの被害は年間1,800件以上発生しています。

ネットやSNSの利用が増えることで、トラブルに巻き込まれる可能性も高くなります。

※1 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)

不審者・ストーカー

お子さまが不審者やストーカー行為の被害にあつることがあります。

年間2,145件

10代のストーカー被害の相談件数は年間2,145件、1日あたり約6件が発生しています。

登下校時等1人での行動が多くなることで、不審者等に巻き込まれる可能性も高くなります。

※1 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)

学業継続

お子さまの教育には多くの費用がかかり、経済的なケガや病気によって所得が減り学費が困難になることもあります。

477万円

お子さまが小中高で公立に進学した場合、教育費は合計で477万円かかります。(小学校6年間:192万円、中学校3年間:147万円、高校3年間:137万円)※1 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:東京海上日動火災保険株式会社「小学生の交通事故」(令和5年度版)

小中高生のお子さまを持つ親の約11%が過去5年間にケガや病気等の理由により入院を経験しています。

※1 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)※2 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)※3 出典:「小学生の交通事故」(令和5年度版)

こどもの未来を応援する活動

みどりの授業

マンゴリーの植林活動を題材に、地球温暖化防止・生物多様性・津波や砂土流出の被害軽減等の効果について学び、自分たちでできる地球環境保護活動について考える授業を全国の小学校・特別支援学校等で実施しています。

ぼうさい授業

地震・津波発生時のメカニズム、発生時に身を守る方法、事前の備え等を学ぶ「ぼうさい授業(地震・津波編)」:大雨が降るメカニズム、避難行動を起こす準備、避難所での過ごし方を学ぶ「ぼうさい授業(水害・土砂災害編)」を全国の小学校・特別支援学校等で実施しています。

リスクと未来を考える授業

パン屋の経営を題材としたカードゲームを通じて経営を体験しながら、「挑戦すること」「チャンスを活かすこと」「リスクを想定し、その対応を考えると」の大切さを学び、職業観を身につけるための授業を全国の中学生・高校生向けに実施しています。

がんばれジュニアスマー

水泳打ち込みながら、たくましく成長していくジュニアスマーたちを応援したいという思いから日本水泳連盟の支援を受け、大会の運営サポートやジュニア選手への選考や強化合宿等に協力しています。

東京海上日動火災保険株式会社

